



参加
無料
(事前申込制)

第128回中国理解講座
現代中国語シリーズ③

名詞？動詞？ —古代中国語の 品詞分類の難しさ—

13:00~14:30

立命館孔子学院講義室 (国際平和ミュージアム2階)

11/25
(土)

講師：戸内 俊介 氏 (二松學舎大学文学部中国文学科准教授)

講演概要：

中国語に品詞はあるのか？

これは、1950年代に中国語研究者の間で、大きな議論を呼んだ問題である。現代中国語の品詞分類は、この論争を経て、一定の認識が共有されるに至ったが、一転、古代中国語に目を向けると、問題は今なお複雑怪奇である。

古代中国語、とりわけ前漢以前の上古中国語は、名詞と動詞(または形容詞)の垣根が、現代中国語よりはるかに低く、名詞である語彙が動詞的に用いられる用例(さらに目的語を伴う他動詞的用例)が散見される。

本講演では、この不可思議な現象について紹介しつつ、上古中国語でなぜこのような言語現象が成立するのか、またこれは時代が下るとどのように変化したのか、について考えてみたい。

お申込み・お問合せ先：立命館孔子学院 (立命館大学 国際平和ミュージアム2階)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学 アカデミア立命21内

TEL : 075-465-8426 FAX : 075-465-8429 Mail : koza@st.ritsumei.ac.jp <http://www.ritsumei.ac.jp/confucius/>

